



● 地域提案型

平成17年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ラオス
2. 事業名	上水道配給水管維持管理技術向上
3. 事業の背景と必要性	現在、ラオスでは都市部においても、安全な水道水の供給を受けることができるのは二人に一人の割合である。JICAはこれまでも無償資金協力や技術協力を通じ、浄水場の改善や拡張などの協力を実施するとともに、各県の水道局が増加し、その運営管理に携わる技術系職員が不足することに対応するため、水道局の指導的技術者を育成するための技術協力プロジェクトを実施してきた。さいたま市水道局はこれまでも技術協力プロジェクトにおける協力機関として専門家を派遣し、現地の水道局職員に対して、水道管の敷設や管理、浄水場運転管理、水質管理についての研修を行ってきた。さいたま市水道局では、地方自治体としての経験とノウハウを活かし、更にきめ細かな支援を行うため、草の根技術協力事業（地域提案型）で継続的にラオスへの支援を実施することとなった。特にラオスでは国家開発計画に基づき2020年までに都市部の人口80%に安全な水道水配給を行うことを目標として各国ドナー協調のもとに上水道施設整備を実施しているが、一方で配給水管の漏水が多発しており、この対策が急務である。当事業は漏水予防対策及び修繕体制の整備、漏水の情報管理体系整備に必要な技術の移転を目標とする、必要性の高い事業である。
4. 事業の目的	ヴィエンチャン市水道局他、主要都市水道局における配給水管維持管理体制が確立し、漏水修繕が迅速かつ適正に対処される。また、各種集計・統計作業により漏水原因がより明確化され、漏水再発予防に繋がる。
5. 対象地域	ヴィエンチャン、チャンパスック、サバナケット、ルアンパビン、カムワン
6. 受益者層	対象地域の水道局技術者及び地域住民
7. 活動及び期待される成果	<p>【研修員受入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ラオス各水道局における配給水管維持管理体制の見直し ● 漏水対応体制の見直し ● 漏水対応フローの作成 ● 各種書類（修繕報告書、月次・年次集計表、統計資料）の作成 ● 原因分析の実施 <p>【専門家派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研修員を講師としたラオス水道関係者WS開催により研修員のフォローアップと、協力の成果を他関係者へ共有。 ● 研修員他関係者への漏水対策にかかる技術指導
8. 実施期間	平成18年10月～平成20年10月
9. 事業の実施体制	<p>【日本側】さいたま市水道局</p> <p>【ラオス側】Ministry of Public Works and Transport、Nam Papa Vientiane Capital City、Nam Papa Champasack、Nam Papa Luang Prabang、Nam Papa Khammuane</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	さいたま市水道局（埼玉県さいたま市）
2. 対象国との関係、協力実績	さいたま市水道局では、平成4年（1992年）からJICA長期・短期専門家やJICA・JICWELS（国際厚生事業団）調査団への参加、カウンターパート研修受入など長期間にわたりラオス水道事業者の人材育成に貢献してきた。